

## 北渡島檜山圏域における在宅医療の提供体制の構築に係るアンケート調査結果概要

## 1 目的

北渡島檜山圏域における在宅医療の提供体制の構築を図る上で、優先すべきと考える取組について、地域のニーズを把握することを通じて、今後の取組の方向性を協議するための基礎資料とすること。

## 2 調査対象

北渡島檜山圏域において在宅医療に係る機関 117施設 122事業所

## 3 調査方法

メール、郵送

## 4 調査期間

令和6年（2024年）1月26日（金） ～ 2月22日（木）

## 5 調査内容

- （1）在宅医療の提供体制に求められる4分野23項目のうち、特に取組む必要がある6項目とその理由
- （2）当圏域において必要だと思うサービスや取組

## 6 調査結果

## （1）回答数

59事業所（回答率 48.4%）

## （2）当圏域において特に取り組む必要があると思う項目

順位	分野	取組項目	票数
1位	在宅での看取り	患者や家族が希望した場合に自宅で最期を迎えられる医療及び介護体制の構築	39
2位	退院支援	多職種による退院前カンファレンス	33
2位	急変時の対応	24時間いつでも往診や訪問看護の対応が可能な連携体制	33
4位	日常の療養生活の支援	医療機関による訪問診療	31
5位	急変時の対応	入院医療機関における円滑な受け入れ（後方支援体制の構築）	26
6位	日常の療養生活の支援	訪問看護事業所と関係機関との連携推進	16
7位	退院支援	入院初期から退院後の生活を見据えた退院支援	15
7位	日常の療養生活の支援	切れ目のないリハビリテーション提供体制（急性期・回復期から生活期へ）	15
9位	日常の療養生活の支援	歯科診療所と医療機関等との連携推進	12
9位	在宅での看取り	在宅医療に係る機関が介護施設等による看取りを必要に応じて支援すること	12

(3)(2)の主な理由

順位	理由
1位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設入所もできない状況。本人や家族が在宅を望むケースが増えている。</li> <li>・医師不足で出張医が担っている状況。人材の確保、看取りケアの研修、多職種との連携が必要。</li> </ul>
2位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス事業所が不足しており、情報共有の機会が少ない。</li> <li>・退院前カンファレンス等で入院中の状況や今後の対応や要望を多職種で確認できる場があるとよい。</li> </ul>
2位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が抱える問題は急変時の対応。1日でも長く過ごすためには連携体制の充実が必要。</li> <li>・24時間の訪問看護はあるが、往診が可能になれば、在宅療養者やその家族の大きな負担軽減になる。</li> </ul>
4位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療を支える中心であり、推進するうえで一番必須な機能。</li> <li>・訪問診療を行える医師が増えて欲しい。</li> </ul>
5位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急変時に入院できる病院があると本人が安心して在宅療養できる。</li> <li>・介護疲れや急病時にレスパイト入院できる地域であって欲しい。</li> </ul>
6位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の全身状態を把握しているのは訪問看護師であるため連携は必須であるとする。</li> <li>・今よりも訪問看護が受けやすい地域になって欲しい。</li> </ul>
7位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急な退院では支援調整が間に合わない。</li> <li>・在宅療養を見据え、早い段階からの病院との連携が必要。</li> </ul>
7位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院中にリハビリを行っていても自宅での継続が難しい。</li> <li>・在宅でリハビリの機会を継続できるようなシステムがあればよい。</li> </ul>
9位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識不足が原因で、歯科を病院よりも後回しにする方が多い。</li> <li>・入院患者の支援チームの中に歯科との連携が求められている。</li> </ul>
9位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設での看取り希望が増加しているが、望まれない救急搬送や情報共有など課題も多い。</li> <li>・看取りやその支援をするためのアドバイスが欲しい。</li> </ul>

(4) 当圏域において必要だと思うサービスや取組

取組やサービス等
<p>(1) 必要なサービス</p> <p>ア 通所サービス  デイスサービス、通所リハビリ、小規模多機能型居宅介護 等</p> <p>イ 訪問サービス  訪問診療、訪問歯科診療、訪問看護・訪問介護（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）  訪問リハビリ、訪問入浴、訪問栄養 等</p> <p>ウ 入所サービス  短期入所、介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホーム、ケアハウス等</p> <p>エ その他  移送サービスの充実、有償ボランティアの普及</p> <p>オ 介護や看護など関係職種の人材確保</p> <p>(2) 必要な取組</p> <p>ア サービスの充実に向けた検討の機会</p> <p>イ 多職種連携(ID-Linkの活用、お互いの職種間の業務理解、顔が見える研修の機会 等)</p> <p>ウ 八雲町やせたな町のようなケアマネ連絡協議会</p> <p>エ 薬局による薬の宅配という形での参加</p> <p>オ 地域の在宅医療や介護サービスの情報提供</p> <p>カ 24時間対応が難しい場合でも協力体制が図れること</p> <p>キ 共通のサマリーやフェイスシートの使用</p>